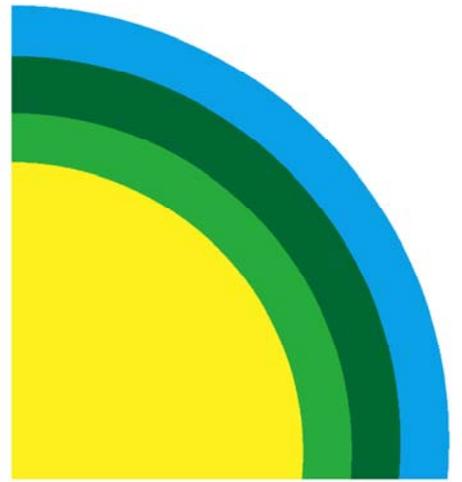


# 原釜尾浜防災緑地 を考える 住民会議

## 第5回



### 今回のプログラム

開催日時：2014年3月24日（月） 18:30～20:00

場所：相馬市東部公民館 参加者：11名

- 18:30 ごあいさつ
- 18:35 これまでのふりかえり
- 18:50 コンセプトの説明
- 19:00 設計内容の説明
- 19:20 質疑応答
- 19:35 今後に向けて・意見交換



設計内容について説明後、意見交換しました！

### コンセプト

当計画地が津波による防災・減災機能を確保しながら、様々な地域活動の中心になりえる場所として、以下のようなコンセプトを設定いたしました。

**地域と交流し、活躍できる  
みんなのフィールド**

### 設計内容

これまでの住民会議を経て設計した内容について説明するとともに、前回の参加者からいただいたご意見・ご質問について返答しました。



# 質疑応答・意見交換

参加者の方々より、以下のようなご意見をいただき、事務局より返答いたしました。

ご質問またはご意見	事務局等からの返答事項
避難道路はどこにあるのか。	南ノ入住宅団地を南北に横断する道路と、津神社北側の道路が該当している。これらの道路と防災緑地が接続する箇所に園路入口を設定して、避難路として活用できるようにしている。神社につながる道路も防災緑地の入口につないでいる。
駐車場は全体で70台程度とのことだが、集まるゾーンについてはイベントの実施などで結構な台数が止まることが考えられるが。	防災緑地の幅を確保した中で、駐車場を設置している。イベントなどの対応は、植樹していない空間を臨時駐車場として利用してもよいと考えている。
大型車は駐車できるのか。	北側（集まるゾーン）と中央の港湾事務所に隣接する駐車場に設置する。
幼稚園児などが遠足等で来ることが考えられる。とにかく長いすべり台とか設置できないのか。	[参加者からの意見] そのような施設は自分たちで作ったりして設置すればいいのでは。
照明は。	太陽光と風力で点灯する照明灯を計画している。また、トイレ内照明は人感センサーで点灯するものとしている。
海水浴場へ園路を結びつけるようにしていただきたい。	海水浴場付近の防潮堤には、階段とスロープを数か所設置しており、そこに園路を結んでいる。
臨港道路はどこから4車線となるのか。	相馬亙理線と海側の港湾道路の間を4車線とする予定である。 [参加者からの意見] 利用者は防災緑地へは車で来ると思う。そして、津波の時には車で逃げる。逃げる際には国道バイパスまで車で逃げる可能性がある。臨港道路は、車で逃げることを考えてバイパスまで30mの幅員で整備した方がよいのでは。
短時間で逃げるためには、園路に色を付けるなど、一目で分かるようにしたらどうか。	わかりやすい園路計画とする。また、今後、相馬亙理線等への横断歩道を設置する箇所について警察と相談する必要がある。
相馬亙理線の公園側前面にわたり、駐車スペースを作った方がよいのでは。	公園側への出入りの関係で、公安側からの認可が降りにくいのが現状である。 [参加者からの意見] 不法駐車されることが目に見えているので、今から駐車帯を設置した方がよいのでは。
都市内では、道路の側方に駐車帯が設置されているのだから、有料・無料は別として、公園でもやってみたらよいのでは。	その形状では交通管理者である警察の認可を得るのはハードルが高いと考えている。 [参加者からの意見] 今からでも駐車スペースを確保しておいた方が、後々良かったと感じるようになると思う。
相馬亙理線の既存道路の線形はどこにあるのか。	南側はほぼ同じである。中央部分の臨港道路と交差する付近で大きく線形が変わっている。
相馬亙理線の道路幅は広がるのか。	現道より若干広がり、10m程度となる。
相馬亙理線には歩道がつくのか。	山側の片側に2.5m幅の歩道を設置する。

## おわりに

今後も、住民会議を継続し、皆様からの意見を伺いながら、実際の整備や管理について検討・調整していくこととしました。

島根から派遣職員として対応してきた中村です。本件を通じて原釜に愛着を持ちました、今後もこの地域のことをアンテナを張って見ていきたいと思えます。この一年間、ありがとうございました。



中村さん一年間お疲れ様でした。今後のご活躍期待您的します。

### お問い合わせ先

福島県相双建設事務所

担当: 道路・橋梁課 吾妻、藤崎

電話 0244-26-1218